白い森小国から

今年も残すところあと一か月。小国は既に冬支度の真最中で、もうすぐ雪が降ってくる。11月からは毎日がほとんど雨、そして雨がミゾレに変わり雪となり来年の4月まではドップリと雪の中に埋もれる。あ〜、イヤだ、イヤだ。考えただけで気が滅入る…。

文／今 修　写真／K-PRODUCTS

ジムニーとの思い出が少ない…

小国では間もなく走れなくなるから、少し早いけど今年はどんな年だった振り返ってみよう。皆さんはジムニーで存分に遊べた？ 遊べなかった？ 悲しくも廃車になったとか？ 喜びも悲しみも色々とあったと思うが、今年の俺は仕事が忙しくてレースにあまり参戦できないどころか、ジムニーにもあまり乗れずだった…。ん〜ジムニーだけで語ると、ちょっと寂しい年だった気がする。

もちろん仕事も大事だけどジムニーで遊びたくてジムニー屋になった自分としては、ジムニーに乗れない、ジムニーで遊べないという事はジムニー屋になった意味がないのでは？ たまにフッと考えてしまう。あっ、また暗くなるので話を変えよう！

650km先の静岡を目指す

昨年、DBレーシングの小野さんに誘われてJCJ（Jimny Club of Japan）ジムニーカーニバルの耐久レースに参加した。それがきっかけで今年JCJ東日本支部を結成することとなり、現在20名の会員がいる。そして10月19日〜20日、静岡県磐田市で行われた第30回ジムニーカーニバルに行ってきた。

東日本支部のメンバー14名で参加するという、久し振りに大所帯での遠征だったのでテンションもUP！ やっぱりみんなで参加できるイベントは楽しいものである。我々東日本支部は山形名物のいも煮と米沢牛串焼き、そして玉こんにゃくを販売する予定。そこで前日から俺とヤっさんで材料を刻んだり、下準備をしたりで大忙しだった。

移動は積載車にレースマシンを2台積んでマー君とシゲちゃんが交代で運転する。自走組は4台で、俺を含めた年寄組はワゴン車に乗り込み、当日（19日）の朝まで到着する予定で各自出発した。

移動ルートは関越自動車道から北陸自動車道、そして長野道から中央道、伊勢湾岸道から東名高速道路・浜松インターで降りるルートが一番速いし渋滞もない。距離は小国から約650kmだ！ 我が年寄組が出発したのは18日夜の21時。ワゴン車なので乗り心地が良くて巡航速度も高いから快適快適！ 30分前に出発した自走の須藤君を新潟付近で追い越し、1時間前出発した積載車を長野付近で追い越した、レースでも無いのになぜか勝利した気分（笑）。そして岐阜に入ったところで休憩&夜食。そーいえば、仙台から東北自動車道で静岡に向かっている梅ちゃんは今どこ走っているんだろうか？ 気になったのでFacebookをチェック！ 最近は便利だね、事細かくFacebookに上げてくれているから行動がわかりやすい。梅ちゃんも順調に静岡に向かっているようだ！ 新潟付近で抜き去った須藤君は…Facebook見ても行動がUPされてない。電話でもしてみるか！

俺：「もしもし、どこまで来た？」

須藤：「え〜っと、いまは高崎です！」

俺：「んっ？ た・か・さ・き？ 高崎って関越道じゃね？ なんで東京向かってるんだ？ めっちゃ遠回りだぞ！首都高の渋滞とかもあるし」

須藤：「えっ！ みんなこのルートじゃないんですか？」

俺 「そんなワケねーじゃん。ま〜頑張れ！ じゃ〜な（笑）」

須藤君はJA11幌で静岡に向かっている。リーフ車というだけでもきついのに好んで（？）遠回りとは、もう笑うしかない。

休憩&夜食タイムが終わったところで再スタート。残り300km弱だ。しばらく走ると見覚えのある電光ナンバー『830』の積載車を発見した。まだこんなとこ走ってんだぁ？ 今日2度目の追い抜きである。『静岡で待っているよ〜』っと言わんばかりのガッツポーズを見せながら横を走り抜ける。後は浜松までノンストップだ！ そして会場の磐田市竜洋海洋公園に着いたのは19日朝方5時頃だった。

仲間がいるって幸せだね！

準備まで時間があるので、車内で仮眠することに。しかし小学生の遠足気分で、1時間ほどで目が覚め寝られない。しかも中学生が見るような変な夢まで見たし…（イヤん♡）。思い切りよく行動開始！

まずは朝飯だ。朝飯と言ったら朝マック？ いや、親父チームにはちょっとコッテリ過ぎるので、すき屋の朝定だな。それにしてもすき屋の朝定は安い！ 中国製のパーツより安い！ ごはん・みそ汁・たまご・ひじき煮、これ全部で200円なんだから、激安だ‼ どうせならちょっと豪華にと、ごはん・みそ汁・たまご・鮭・納豆・ひじき煮を注文。これでも440円だが、ちょっとリッチな気分だ。会場に引き返すと各支部員が集まりだしていた。

テントを設営して、昨日仕込んだ山形名物の玉こんにゃくと芋煮の準備開始。そうこうやっていると、JA11幌でわざわざ遠回りして来た須藤君が到着。12時間もかかったらしい…お疲れさん。これで東日本支部全員が集合してブースも完成。いよいよジムニーカーニバルの始まりだ！

20日に開催されるジムニーカーニバルのメインイベント『2時間耐久レース』には東日本支部から7台がエントリー。今回初めて耐久レースに参戦する人もいる。19日は練習走行（と本戦のスタート順番決め）もあり、他の選手の走りも見られて気分はレースモードだ。

DBレーシングの小野さんは、相変わらず快調な走りをしている、静岡支部の久保田さんはめっちゃ速ぇ〜！ まだまだJB23に慣れてない俺はちょっと緊張気味…でもないか！ 久し振りに走れる喜びの方が大きいかな？ とにかく明日が楽しみだ。今日は早く寝て明日に備えよ〜っと‼

翌日は朝から雨に見舞われた。路面が超マッディなコンディションになったから、雪道で低ミュー路に慣れている東北の人間にとっては有利かな？ 出場台数31台で、スタートはローリング形式。前日の予選で自分は9番手に付けている。さぁ、いよいよ2時間耐久レースのスタートだ！

スタートから30分経過した頃に横転車が出始めた。横転の場合は失格、ポール倒しは減周、このヌタヌタ路面状況の中、正確な走りを求められる厳しいルールだ。そして横転車が出ると赤旗が上がり、その場で全車ストップ。ストップさせられる度に集中力が切れたが、休めたりもしたので、耐久レースとしては楽だった。

前車を1台、また1台と順調に追い抜きトップ集団に近づこうとするが、さすがトップ集団は速い。残り15分ぐらいまでは1台も抜かれてなかったが、終盤で静岡支部・久保田さんに抜かれた。レース終了間際で集中力が切れたのかコーナーで失速…。クルマがスピンしかけてポールギリギリで停止したがその間に2台抜かれ、その後挽回できないままレースは終了した。結果はどうあれ、自分としては大きなミスもなく、まだ慣れてないJB23ではこれが精一杯の走り。楽しかったし、十分満足した耐久レースだった。

表彰式ではN3クラス3位に嶋貫彰一・新野浩美・安部茂幸、N2クラス2位に須藤千尋、Xクラス6位に伊藤恭広、5位に結城大策　2位に自分と、東日本支部から7台エントリーで5台が表彰台に上がれた。

JCJジムニーカーニバルの全スケジュールは終了したが、東日本支部の我々はまだまだこれからが大変だ。疲れた体に鞭を入れながら650kmの道のりを帰らなければならない。東名高速に上がり浜名湖SAで休憩&食事、翌日仕事の人もいたのでとっとと走り出すと…なんと事故渋滞！ 先を走っている積載車から情報を聞くが、渋滞はかなり続いているようだ。

「このままではいつ山形に着くか分からないな…」。そこで急遽ルート変更し、東京周りで東北自動車道で帰る事にした。我々が山形に着いたのは夜中の2時30分で、積載車が着いたのは朝方の5時30分だった。そして途中で仮眠をとった須藤君は昼の12時に到着！ JA11幌、それもフルバケットシートでどうやって仮眠したのだろうか？

今回の移動距離は往復約1,500km！ 疲れたけどみんなで参加できて楽しいイベントだった。やっぱり仲間と一緒にワイワイガヤガヤ楽しめるのは本当に嬉しい。こういった繋がりを一生大事にして行きたいと思うし、一番大切なことだと思う。今年のレースはこれで最後かなぁ？ 来年はもっと沢山のレースやイベントに参加し、ジムニーでたくさん遊べたら良いなと思っている。そんな我々と楽しいジムニーライフを送りたいなら是非ともJCJ東日本支部へ！ 入会希望や問い合わせ等はTEL.0238-62-4901　k-products内・伊藤恭広までお願いします！

我がブースでは、山形名物の玉こんにゃく、芋煮、米沢牛串焼きを販売。また来年も参加するぞ！

オフロードレースに相応しく（？）泥まみれとなったJB23。やはりこれぐらい汚れた方がカッコイイよね？

2台積みの積載車。スピードが出ないのが悩みだ…。そのため、ほとんどノンストップで650km走ったのだ！

向って右から、6位・伊藤恭広さん、 5位・結城大策さん、4位・上田昌紀さん、3位・小野勝重さん、1位・久保田太一さん、2位・私、今 修。